

いわき民報

社報民きわい
（第一八三三號）宛先不明の郵便物は
已済封筒 人宛封筒
く 贈り物 日 月 日 日
十二月一日 五 五 五 五

小口金融
電話一六〇番
湯本ウラ町
青柳

好間川の切換工事計画

五十萬圓の巨費を投じて

常磐炭田排水対策委員会では第一着として失業対策工事と並行して本年度計画として十萬圓を投じて内郷町白水澤の地表排水工事を実施してゐるが今年度追加予算として五十萬圓を計上岡田川炭礦の礦派を通じて居る好間川の切換工事を計画してゐる。

日鑛常聯擴大委員會

湯本礦脱退承認問題中心に

常磐炭礦單一勞組の結成により湯本礦の脱退とみた日鑛常聯支部聯合會は二十四日午前十時から平市公會堂日本間に第四回緊急擴大委員會を開催、湯本礦脱退承認を始めこれに伴ふ係員の補充豫算再編成今後の活動方針決定、炭價改正に伴ふ賃上げその他の重要問題について協議する向これに先立つて

町村長會の記念式典

けふ第三校で

憲法公布を導く町村長會の記念式典は十八日午前十時から第三國民學校講堂に金町村はじめ市郡下各官衙代表百余名出席盛大に舉行された伊藤會長の挨拶について金成副會長の経過報告

株式 いわき民報社

十七日創立總會完了

本社株式組織は順調に進行、を設けることに就て諮り、異議なく左の四氏を推薦承認を受け十月十日を以て滿株に達し、十一月二日株金十九萬圓の全額揃ひを完了した。十七日午後二時から市内五丁目釜屋商店電氣部に創立總會を開いた、出席株数は委任状とも三千三百三十株、議長に諸橋久太郎氏選ばれ、發起人總代理野崎武藏氏から創立に至る経過を説明し、定款承認、次いで取締役、監査役選舉の互選に依つて代表取締役野澤氏が推薦された。

素晴しい鱒の前景氣

小名濱の加工場も準備開始

小名濱港所屬揚揚船十六統はることになった。目下金華山沖に出漁中だが、魚群の南下に伴つて續々南下の模様で、早くも坂本興彌氏所有の船は歸港の途程中十七日双葉郡沖で魚群を獲見、投網二千貫、十萬圓を水揚げした有様だ、この一週間に全船歸港、久方振りに濱は陽の山が染れやうとあつた。各加工場等は一日千秋の思ひで入船を待つて居るので早くも濱は生の良い鱒の前景氣に活況を呈してゐる。

上遠野村長 辭表提出

伊藤飯野村長も

公職追放旋風が吹き捲かれた上遠野村長大野正氏は十六日辭表を提出した、また飯野村長伊藤飯野氏も辭意を表明該當町村長の今後の態度が注目されてゐる。

区内會對抗野球

次回は二十三日に開催

市内各區内對抗野球は十七日雨天の爲準々決勝以後は二十三日九時から平商、平工校庭で行はれる、優勝チームは新川町、城山、北白銀の争奪と見られるが新川町は相原投手が一人で三回投げられるかが疑問であり、城山は櫻田、佐藤、豊田の三投手北白銀は宗像兄弟投手を持つてゐる事が興味である、問題は打者の粘り強さである、新川町チームが投の相原投手をカバリー良く打てるか否かにかゝると見られてゐる、戦績左の通り

木炭三阪から 七千俵確約

十八日から入荷

市内の木炭配給は依然として九月分以降未配で市民の悩みの種となつてゐるが、三阪村の七千俵が確保されたので十八日から毎日二臺のトラックを動員して三阪の山元から搬出する事になった、搬出は一臺平均二百俵の粘り強さの新川町チームが投の相原投手をカバリー良く打てるか否かにかゝると見られてゐる、戦績左の通り

区内會對抗野球

市内各區内對抗野球は十七日雨天の爲準々決勝以後は二十三日九時から平商、平工校庭で行はれる、優勝チームは新川町、城山、北白銀の争奪と見られるが新川町は相原投手が一人で三回投げられるかが疑問であり、城山は櫻田、佐藤、豊田の三投手北白銀は宗像兄弟投手を持つてゐる事が興味である、問題は打者の粘り強さである、新川町チームが投の相原投手をカバリー良く打てるか否かにかゝると見られてゐる、戦績左の通り

講演と音楽

早大音楽部来平

早大音楽部来平、早稲田大學教授林信雄氏を以ての新憲法についての講演をはじめ同音楽部一行二十余名の名曲集の文協の後援を得て十八日午後六時から第三國民學校講堂に講演

三日間に米十二俵

平署の列車一齊取締り收穫

平署では米穀類を始め主要物資の横流れ撲滅を目的、關係方面隨時抜打的に實施買置者をして厳罰處分する

市青果市場 連日大繁昌

去る十五日店開きした市青果市場は連日五百貫乃至七百貫と云ふ大量の出荷にも拘らず市場内に飛ぶ賣行で市民の好評を博してゐるが今日十八日には八百貫が入荷、個人賣りを行つた、十七日が雨天だったため早朝から消費者が押し寄せ、正午までには五百貫、午後二時までに全部賣切と云ふ大繁昌ぶりを示した

四女幾代儀

去月二十日送葬の際は何多忙中の處、送葬御會葬被下且つ御重なる御香奠を賜り御厚志の御誠誠に有難く御禮申上候。早速拜禮申可申度種々取込の爲め延引仕り申請之無く早急紙上御禮申度如斯御座候。昭和二十一年十一月十八日 湯本町葉田七七

電球の配給

市配給課では各家庭外燈用の電球が三百ヶ入手したので各希望者に隣組を通じて配給する

福井教授來平

平高女では音楽界の權威東京音樂大學教授福井直俊、同直高女を以て十九日午前八時から同校講堂で音楽會を催す

言寸きわい

この一週間に濱は陽の山を染めかうとの快報を知らせる、心強い嬉しい知らせである。射撃のよ、増加、保健所が無料診療に乗り出す、當然のことはいへ、よかつたと褒め置く。列車の一齊取締り三日間で何と米十二俵の收穫、濱の眞砂と何と米十二俵の收穫、濱の眞砂と何と米十二俵の收穫と聞は、つぎ今度は濱の眞砂と聞は、つぎ今度は濱の眞砂と聞は、つぎ

福島縣指定專業重點工場 平木工業株式會社 社長 佐藤幸太郎 事務取締役 足助重雄 本社 平市新田町二六 電話 七二四五七 七二 東京事務所 東京都墨田區新橋 一ノ三三(島橋ビル) 電話(57)四八三三番 工場電話 一九二二七三 三八九八三五五番

施主 矢吹 周市 親戚總代 矢吹 周一

